



浜松市中区の静岡文化芸術大文化政策学部で伝承文学を専攻する学生が2014年度から、同市天竜区で住民

浜松・龍山の民話一冊に 静岡文化大學生 現地で収集、方言そのまま

出版した「たつやまの民話」を前に、現地での調査を振り返る学生=11日午前、浜松市中区の静岡文化芸術大

浜松市中区の静岡文化芸術大文化政策学部二本松康宏教授ゼミの学生が2014年度から、同市天竜区で住民への昔話採録調査に取り組んでいる。17年度は同区龍山町を舞台に調査を行い、成果をまとめた書籍「たつやまの民話」(A5判、180頁)をこのほど出版した。学生は「龍山のことをより多くの人に知ってほしい」と話している。

出版したのはいずれも4年の稻葉夏鈴さん、岡田真由子さん、小林由芽さん、玉置明子さん、中谷文音さん、毛利とわさん。昨年5月から今年1月まで30回以上龍山町に足を運び、地区親睦会への参加や戸別訪問を繰り返した。文献や資料の少なさに加え、17年10月時点の同町の人口は646人で、情報収集に苦労したという。

窪町で調査し、書籍を3冊出版した。18年度から3年間は同区春野町で調査を進める。二本松教授は「地域の人間に支えられて出版できた。龍山の歴史を継承できれば」と語った。(浜松総局・小沢佑太郎)

窪町で調査し、書籍を3冊出版した。18年度から3年間は同区春野町で調査を進める。二本松教授は「地域の人間に支えられて出版できた。龍山の歴史を継承できれば」と語った。(浜松総局・小沢佑太郎)

約60人の住民から聞き取った昔話28話、伝説26話、世間話14話、言い伝え14話の計82話を収録。方言や語彙に修正を加えず執筆したのが特徴で、各地の歴史や文化などをまとめた文章も「地域解説」として紹介している。稻葉さんは「通つているうちに、話を思い出しながら語ってくれてうれしかった」と振り返った。

14~16年度は同区水

